美土里小 学校だより
緑の風

平成 29 年度　第 41 号
平成 30 年 3 月 12 日
文責　校　長　髙橋　博

◎スマイルハイタッチウィーク◎

　企画委員会の５，６年生が、「明るく」「元気」なあいさつが飛び交う「あいさついっぱいの学校」づくりを目指して、先週１週間を「スマイルハイタッチウィーク」とし、早朝からあいさつ運動に取り組んでくれました。
　校門付近に立ってあいさつするだけでなく、放送等を活用し、「元気よくさわやかで、気持ちのよいあいさつをしましょう」と呼びかけることなどもしてくれました。
　なんと言っても素晴らしいのは、企画委員会の子どもたちが、日頃課題と思っていることを出し合い、それを解決するために自分たちで主体的に考え、このイベントを企画したということです。「スマイルハイタッチウィーク」をきっかけとして、企画委員会の子どもたちの思いが全校児童に伝わって、気持ちのよいあいさつがたくさん飛び交う「あいさついっぱい」の学校になることを大いに期待しています。

◎感謝集会◎

　本校では、たくさんの学校支援ボランティアの皆さんに様々な教育活動の場面で、ご協力いただいています。そのボランティアの方々に日頃の感謝の気持ちをお伝えしようと６日（火）の業前活動の時間に感謝集会を企画しました。すべてのボランティアの皆さんにお声かけしましたが、ご都合がつく方が少なく、読み聞かせのボランティアの方４名のみの参加となってしまいました。そこで、直接読み聞かせをしていただいた１，２年生がボランティアの方をお迎えするという形に会を縮小して開催することとしました。
　当日は、代表児童の感謝の手紙の朗読と花束贈呈、そして「校歌」、「ありがとう」の２曲の歌のプレゼントを行い、感謝の気持ちを表しました。参加されたボランティアの皆さんには、大変喜んでいただくことができました。学校支援ボランティアの皆様、次年度もよろしくお願いいたします。

○ちょっといい話○

　先々週、インフルエンザに罹り、木、金とお休みをいただき、先週月曜日から学校に復帰しました。先週はいたるところで、様々な学年のたくさんの子どもたちから「もう治りましたか」「もう大丈夫ですか」などいたわりの言葉をかけてもらいました。とてもありがたく、うれしく感じました。